

バンダイナムコHD

人事給与パッケージ導入

主要事業会社のシステム統合

一元管理体制を構築

バンダイナムコホールディングス（HD）は、主要事業会社の人事・給与・就業管理システムを統合し、HDで一元管理する体制を構築した。電通国際情報サービス（ISID）の人事給与パッケージ「ポジティブ」を導入し、バンダイ、バンダイナムコゲームス、ナムコのシステムをHDの間接業務部門のシステムに統合した。HDを含む4社で約8000人の従業員を一元管理する。ISIDでは「数千規模の経営統合に伴うシステム刷新に利用できる」として、今回の実績を生かして大規模なシステム集約への同パッケージ活用を積極提案していく。

バンダイナムコHDは、開いている。2005年にバンダイとナムコが経営統合し、玩具、ゲーム、映像音楽、アミューズメント関連などの総合エンターテインメント企業として事業展開している。

今回、システム統合に採用したISIDの「ポジティブ」は、子会社などに分散しているシステムの集約に対応する大手企業向けシステム。人事や給与などの管理機能をウェブブラウザを通じて利用できるのが特徴で、基幹システムとも連携可能。人事制度が異なる複数の会社のデータも一元管理でき、法制度の改正に伴う設定変更も柔軟に行えることなどから採用を決めた。

人事・給与関連の管理システムにはメインフレーム（大型汎用機）を利用している企業が多く、

コスト軽減のニーズが高まっているという。また損害保険業界をはじめ、今後幅広い分野で経営統合やグループ再編が見込まれ、システム刷新の需要も拡大することが予想される。ISIDでは今回のシステム構築も踏まえ、間接業務のノウハウを合わせて提供。数億円規模の大型案件獲得につなげたいとしている。